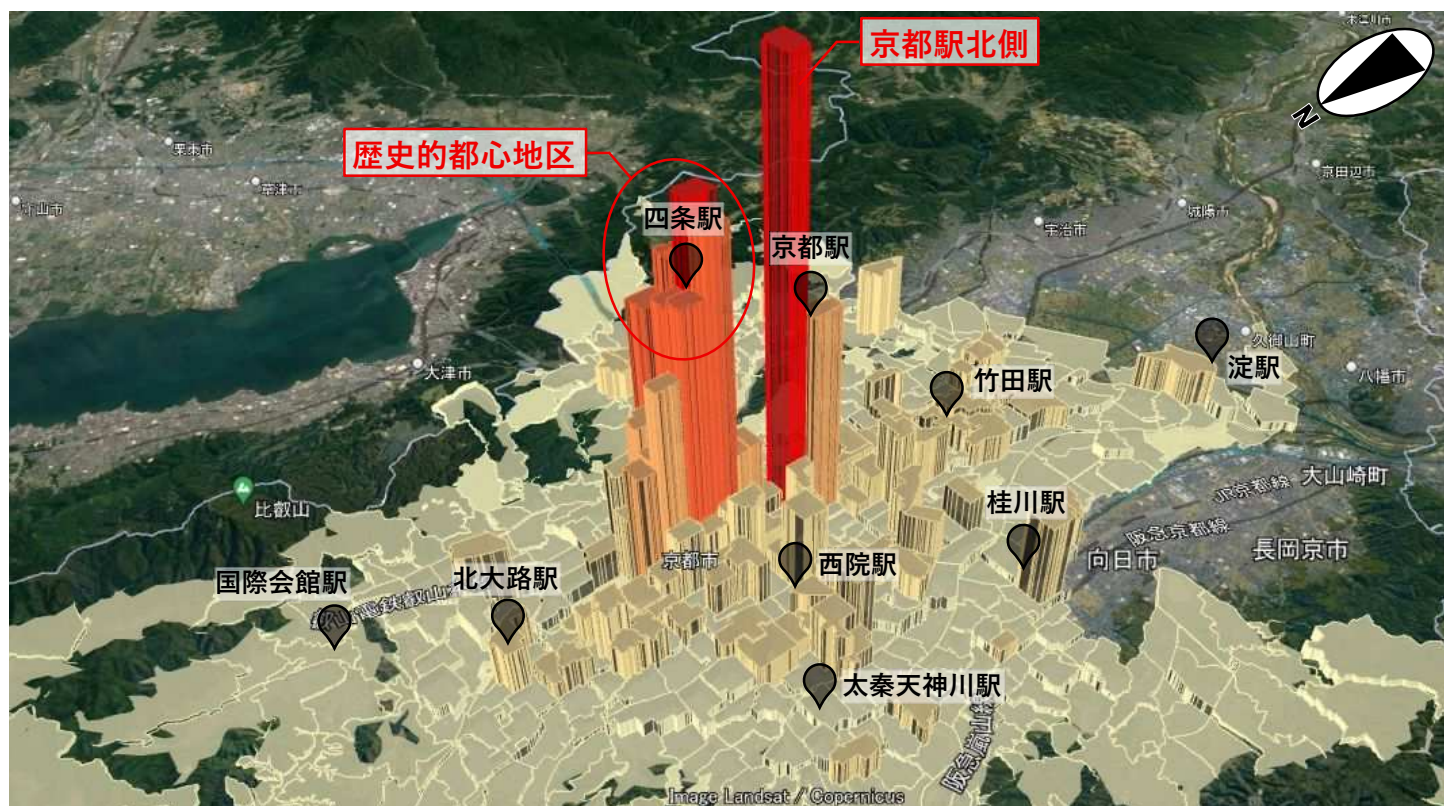


市内における商業・業務機能の分布状況（床面積ベース）

資料 5

○商業・業務機能は、京都駅北側と歴史的都心地区に局所的に集中して立地しており、周辺部との差が大きい。



(凡例)

: ~1,000㎡
 : 1,000~5,000㎡
 : 5,000~10,000㎡
 : 10,000~15,000㎡
 : 15,000㎡~

※京都市「土地利用現況調査資料（令和3年）」を基に本市がGoogle Earthにより作成
 ※本市独自で設定した調査地区（*）における1ha当たりの床面積を凡例に沿って表示
 * 市中心部の元学区（明治期の通学区、面積25ha、人口約4,000人）を標準にして設定
 ※商業機能のうち、宿泊施設は算定対象外